

令和8年  
2026年

5月12日  
火曜日

第11946号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料 (前納)  
年間 82,080円  
(税込み)  
6カ月 42,120円  
(税込み)

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】 株式会社食肉通信社  
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社  
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



プリマハムは5月9日「香薫の日」に、ファンイベントを実施した……P6~7

- ▶ [全国の食肉推定在庫・3月] 全在庫は前年同月比1・5%減 …… P2
- ▶ 売上高、事業利益共に過去最高を記録—日本ハム決算会見① …… P3
- ▶ エフピコ価格改定、全製品20%以上 …… P3
- ▶ プリマハム決算会見①、阿部社長「ベンダー事業不振だが主力事業は堅調」 …… P4
- ▶ [牛肉需給動向・3月] 推定出回り量は前年比7・6%増 …… P5
- ▶ 味の素冷凍食品、肉野菜あんかけ丼の具を新発売 …… P5
- ▶ プリマハム、「香薫 (こうくん) の日」に合わせファンイベント開催 …… P6~7
- ▶ 「2026神戸ミートフェア」が3~5日までの3日間開催される …… P7
- ▶ 農水省が畜舎の火災発生予防対策の徹底を図るよう通知を发出 …… P7
- ▶ [豚肉需給動向3月] 推定出回り量は7・9%増 …… P8
- ▶ 中計目標を1年前倒しで達成—伊藤ハム米久HD決算会見③ …… P8~9
- ▶ 「京都食肉市場まつり2026~京都是、まさしく『肉の聖地』。~」を開催 …… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]11日 …… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]11日 …… P11

## 注目のヘッドライン

### 【全国の食肉推定在庫・3月】全在庫は前年同月比1・5%減

農畜産業振興機構が公表した3月分の食肉等の推定月末在庫によると、全在庫は57万2556t(前年同月比1・5%減)と前年同月を下回り、前月比では1・7%増加した。

…詳細はP2

### プリマハム、「香薫 (こうくん) の日」に合わせファンイベント開催

…詳細はP6~7



**Nipponham Group**  
たんぱく質を、もっと自由に。

## 食肉施設の設計・施工・コンサルタント

— 食肉業界をリードする —



〒110-0016 東京都台東区台東4-20-5  
☎03-3834-1561(代) <https://hanaki-eng.co.jp/>

**[全国の食肉推定在庫・3月] 全在庫は前年同月比 1・5%減**

農畜産業振興機構が公表した3月分の食肉等の推定月末在庫によると、全在庫は57万2556t(前年同月比1・5%減)と前年同月を下回り、前月比では1・7%増加した。

畜種別では牛肉の輸入在庫が12万8320t(5・4%増)となり、前月からは1・9%減。国産在庫は1万32t(4・6%減)となり、前月比では11・7%増となった。牛肉全体の推定在庫は13万8352t(4・6%増)となり、前月比では1・1%減となった。

豚肉は輸入在庫が18万6013t(3・2%減)と前年

同月から減少。前月比でも0・1%減となった。一方、国産在庫は2万4895t(1・9%増)と前年同月を上回り、前月比では6・1%増となった。豚肉全体の推定在庫は21万908t(2・6%減)となり、前月比では0・6%増となった。

また、鶏肉の輸入在庫は11万4637t(12・7%減)と減少し、前月比では0・5%増となった。国産在庫は3万7829t(46・8%増)となり、前月からも2・1%増となった。鶏肉全体の推定在庫は15万2466t(2・9%減)となり、前月からは0・9%増となっている。

[2026年3月の食肉の推定在庫]

単位:トン、比率%

区分		10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月	前月比	前年比
牛 肉	全在庫	172,238	167,935	166,722	172,287	166,607	169,489	101.7	104.6
	冷凍品	154,298	149,703	149,307	155,062	150,084	151,640	101.0	103.6
	冷蔵品	17,940	18,232	17,415	17,225	16,523	17,849	108.0	114.4
	未通関計	23,517	22,511	25,199	28,985	26,777	31,137	116.3	104.6
	推定期末在庫	148,721	145,424	141,523	143,302	139,830	138,352	98.9	104.6
	冷凍品	131,118	127,749	124,629	126,266	123,697	121,049	97.9	103.3
	冷蔵品	17,603	17,675	16,894	17,036	16,133	17,303	107.3	114.9
	内訳								
	輸入在庫計	138,897	135,399	131,961	133,852	130,850	128,320	98.1	105.4
	冷凍品	122,515	119,018	116,300	117,948	115,899	112,258	96.9	104.1
	冷蔵品	16,382	16,381	15,661	15,904	14,951	16,062	107.4	115.5
	国産在庫計	9,824	10,025	9,562	9,450	8,980	10,032	111.7	95.4
	冷凍品	8,603	8,731	8,329	8,318	7,798	8,791	112.7	93.9
	冷蔵品	1,221	1,294	1,233	1,132	1,182	1,241	105.0	107.8
豚 肉	全在庫	241,419	226,943	212,939	221,917	219,343	223,069	101.7	96.1
	冷凍品	227,624	213,463	199,933	206,815	203,618	204,625	100.5	94.9
	冷蔵品	13,795	13,480	13,006	15,102	15,725	18,444	117.3	112.9
	未通関計	10,019	7,813	7,943	8,830	9,684	12,161	125.6	78.4
	推定期末在庫	231,400	219,130	204,996	213,087	209,659	210,908	100.6	97.4
	冷凍品	217,845	206,285	192,617	198,651	194,401	193,496	99.5	96.4
	冷蔵品	13,555	12,845	12,379	14,436	15,258	17,412	114.1	110.1
	内訳								
	輸入在庫計	209,457	196,931	182,068	190,177	186,194	186,013	99.9	96.8
	冷凍品	196,288	184,482	170,495	176,243	171,447	168,999	98.6	95.6
	冷蔵品	13,169	12,449	11,573	13,934	14,747	17,014	115.4	111.5
	国産在庫計	21,943	22,199	22,928	22,910	23,465	24,895	106.1	101.9
	冷凍品	21,557	21,803	22,122	22,408	22,954	24,497	106.7	102.7
	冷蔵品	386	396	806	502	511	398	77.9	71.1
鶏 肉	全在庫	167,896	159,977	151,041	151,955	154,278	156,104	101.2	95.0
	未通関計	3,589	3,140	3,009	2,926	3,106	3,638	117.1	49.7
	推定期末在庫	164,307	156,837	148,032	149,029	151,172	152,466	100.9	97.1
	内訳								
	輸入在庫計	129,858	121,635	111,656	112,209	114,113	114,637	100.5	87.3
国産在庫計	34,449	35,202	36,376	36,820	37,059	37,829	102.1	146.8	
羊 肉	全在庫	3,627	3,396	3,180	3,783	3,958	4,575	115.6	156.9
	未通関計	256	271	207	244	360	462	128.3	241.9
	推定期末在庫	3,371	3,125	2,973	3,539	3,598	4,113	114.3	151.0
	内訳								
輸入在庫計	3,175	2,925	2,785	3,366	3,437	3,923	114.1	152.5	
国産在庫計	196	200	188	173	161	190	118.0	125.0	
そ の 他	全在庫	20,037	19,657	18,415	18,799	19,072	19,319	101.3	96.9
	未通関計	573	563	430	798	900	749	83.2	77.1
	推定期末在庫	19,464	19,094	17,985	18,001	18,172	18,570	102.2	97.9

## 売上高、事業利益共に過去最高を記録—日本ハム決算会見①

日本ハムは8日、大阪市北区の本社で2026年3月期決算会見を行った。会見には前田文男代表取締役社長、細谷信博常務執行役員食肉事業本部長、脇田暁夫常務執行役員加工事業本部長、秋山光平取締役専務執行役員広報・サステナビリティ部担当、十河真也経営戦略部長らが出席した。

会見冒頭、前田社長(写真)が次のように決算総括を述べた。

2026年3月期連結業績は食肉事業が全社業績を大きくけん引し、ボールパーク事業の堅調さも如実に表れたと思っている。売上高は過去最高を記録、事業利益も過去最高となった。中期経営計画2026の最終年度となる今期は、売上高はこれも過去最高となる1兆5千億円、事業利益は610億円で減益を見込むが、当期利益は380億円と増益を計画している。

中期経営計画2026では構造改革、成長戦略、風土改革の三位一体の主要方針を掲げている。構造改革は加工事業を中心に一定の効果が発現しているが、中計最終年も全社視点でのバリューチェーンの最適化に向け、改革の手を緩めずに取り組んでいく。成長戦略では、強い営業力によってしっかりと収益を伴うトップライン(売上高)の拡大を図っていく。現状の足元においても堅調に推移している。また、事業部に昇華したスポーツ・エンタメ事業は、新たな収益源の創出に取り組むこととして昨年発表した「Proteinovation(プロテインノベーション)」の中心に据え、さらなる強化を図っていく。風土改革では、挑戦する組織風土の醸成を進めているが、外部環境が激しく揺れ動いている今を好機と捉え、挑戦を続けていきたい。現場の創意・工夫、お客さまの声、取引先の皆さまとの共創、これらをつなぎ合わせ、次期中計ではもう1段高いステージに進んでいきたいと考えてい

る。

続いて十河経営戦略部長が決算内容に関して次のように説明した。

2026年3月期の通期売上高は、豪州産牛肉の販売単価や数量の

上昇、国産鶏肉の販売単価の上昇などが寄与し、前年比6・3%増の1兆4574億円となった。国産鶏肉の相場要因、豪州産牛肉の需要増加という外部要因に加え、輸入牛肉の戦略的な仕入調達、ボールパーク事業が堅調であったことなどの内部要因から、事業利益は60・3%増の683億円となった。売上高、事業利益は過去最高を達成した。親会社の所有者に帰属する当期利益は日本ホワイトファーム(株)知床食品工場の火災影響による65億円の特別損失が影響したが、31・9%増の351億円となった。

2027年3月期の通期計画は、加工事業におけるトップライン伸長、食肉事業における豪州産牛肉および国内輸入食肉の販売単価上昇などにより、売上高は2・9%増の1兆5千億円を見込む。加工事業のトップライン拡大に伴う粗利益増などを見込んでいるが、食肉事業で豪州産牛肉の仕入価格が高騰していること、知床食品工場の火災影響、全社的に中東情勢に伴うコスト上昇などから、事業利益は10・7%減の610億円を見込んでいる。一方で親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期の特別損失の影響が解消することから、8・4%増の380億円を見込んでいる。(連載続く)



## エフピコ価格改定、全製品 20%以上

食品トレー容器の大手メーカーであるエフピコは6月1日出荷分から、同社の全ての製造製品を20%以上値上げする。中東情勢の緊迫化に伴い、原油・ナフサをはじめとする石油化学原料の調達環境が著しく

悪化。その影響により主原料価格のみならず、副資材費の急騰により、生産コストが大幅に上昇する見通しとなったため。

## プリマハム決算会見①、阿部社長「ベンダー事業不振だが主力事業は堅調」

プリマハムは8日、同日発表した2026年3月期決算会見を東京都品川区の本社で開催。会見には千葉尚登会長、阿部邦明社長(写真)、新川裕二専務執行役員営業本部長、田悟敏弘専務執行役員生産本部長、網野真専務執行役員食肉事業本部長、鯛健一専務執行役員総合企画本部長、中島聡専務執行役員管理本部長らが出席した。概要は次の通り。

[阿部社長]当社の主力であるハム・ソーセージ事業、食肉事業を含むプリマハム単体の事業については非常に堅調に推移し、売り上げ、営業利益共に伸ばすことができた。一方でCVSベンダー事業を行っているプライムデリカ、また一部の海外事業会社の事業が不振で、それを合算した連結の営業利益については前年度からほぼ横ばいとなった。まさに“明と暗”に分かれた内容になっている。

“明”については、「香薫」を筆頭にお客さまから強い支持をいただいているハム・ソーセージ、加工食品は過去数回の価格改定を行いつつも、昨年度も販売数量を伸ばした。加えて生産性の向上も奏功し、着実に収益を上げることができた。食肉も含め好調な決算となった。

一方、“暗”についてはベンダー事業、タイの海外事業が不振。プライムデリカについては、昨年度は強い商品を打ち出し切れなかった。また、タイの事業は円安、さらに現地原料高といった環境の悪化により減益となった。

ただ、ここ数年間の連結営業利益および売上高営業利益率をみると、24年度、25年度はほぼ横ばいではあるが、プライムデリカなどの営業利益のマイナスを除くとハム・ソーセージ、食肉事業については25年度は改善しており、主力ビジネスの強さを示している。商品別にみても、ハム・ソーセージ、加工食品については好調に推移。食肉事業についても、養豚子会社の収益が悪化したものの、全体の営業利益は前年度から伸長した。

消費の減退などでハム・ソーセージ業界全体は生産量が引き続き減少する中、当社の主力事業では生産量を増やしている。コンシューマー商品は引き続き販売数量を伸ばしてきており、生産性向上も相まって着実に利益に結びつけることができた。ハム・ソー



セージのSCIデータに基づく市場シェアは、昨年おおよそ20%近い数字で推移。業界トップのシェアを昨年も維持した。価格政策とハム・ソーセージのキャンペーンをうまく連動させて市場が縮小する中、当社としてはシェアを拡大できた。

食肉事業についても、全体としては好調に推移。牛、豚、鶏、国産・輸入を問わず、価格上昇がみられる1年だったが、その中で当社はカナダ産豚肉「ハイライフポーク」、タイ産鶏肉「米どり」といったオリジナルブランドで質の高い商品を供給。市場ニーズをうまく捉えてトレード部門で大きな増益を成し遂げた。一方、国内の養豚は若干苦戦したが、それをカバーして部門全体として増益を達成した。

26年度は売上高5千億円、営業利益110億円、経常利益120億円、親会社株主に帰属する当期純利益75億円を計画。プライムデリカも新しい商品をしつかり入れていき、お客さまに多くの商品を買っていただけるようにこれからもまい進していく。また、生産性向上によるコスト削減、経費削減という自助努力も一生懸命重ね、プライムデリカの営業利益をゼロ以上に持っていきたい。

一方、単体においては、特にハム・ソーセージや加工食品については、計画作成時点では、原料価格などが上振っていたものの、それを生産努力などで可能な限り吸収し、計画を達成したいと考えていた。ただ、ここにきて中東情勢の影響により、特に包装資材や燃料費などが高騰し、今後の値上がりも必至な状況だ。これが長引いていることを考えると、一部値上げという形で再度原材料あるいは燃料価格の上昇を転嫁せざるを得ない状況になっているという認識を持っている。具体的にいつからどの幅でということについては、慎重に検討を重ねていく。(連載続く)

## [牛肉需給動向・3月] 推定出回り量は前年比7・6%増

農畜産業振興機構が発表した3月分の牛肉需給動向によると、推定出回り量は6万3637t(前年同月比7・6%増)と前年同月を上回った。このうち国産品は2万6596t(1・3%減)、輸入品は3万7041t(14・9%増)となった。

国内生産量は2万8758t(1・6%増)だった一方、輸入量も3万4511t(11・5%増)となった。これにより、推定期末在庫は国産品が1万32t(4・6%減)、輸入品が12万8320t(5・4%増)で合計13万8352t(4・6%増)となった。

[牛肉需給表]

(単位:t、( )内前年比%)

年度・月	生産量		輸入量		推定期末在庫		推定出回り量	
					輸入品在庫	国産品在庫	うち輸入品	うち国産品
令和6年	3	28,696 (97.3)	38,362 (104.3)	111,229 (81.1)	13,108 (104.1)	44,799 (106.1)	26,259 (92.2)	
	4	31,126 (103.0)	63,202 (93.1)	124,210 (84.0)	11,835 (95.7)	50,221 (87.7)	31,620 (106.5)	
	5	28,272 (103.6)	48,512 (104.4)	128,998 (87.0)	12,269 (100.1)	43,724 (95.2)	27,285 (101.6)	
	6	27,417 (96.5)	47,574 (109.0)	135,344 (91.4)	11,885 (97.1)	41,228 (93.9)	27,029 (97.2)	
	7	32,090 (104.6)	49,342 (127.5)	140,727 (96.0)	11,271 (90.4)	43,959 (109.5)	31,956 (107.2)	
	8	25,883 (96.6)	48,897 (107.1)	147,288 (99.5)	10,966 (88.8)	42,336 (95.7)	25,423 (96.8)	
	9	28,279 (100.6)	38,168 (103.1)	144,550 (100.8)	11,298 (87.6)	40,906 (98.2)	27,026 (101.1)	
	10	31,221 (102.6)	43,933 (108.9)	145,078 (105.2)	11,230 (86.2)	43,405 (94.6)	30,480 (103.5)	
	11	34,984 (99.9)	34,574 (103.5)	136,791 (108.6)	10,867 (84.9)	42,861 (94.6)	34,417 (100.0)	
	12	32,224 (102.1)	39,209 (108.6)	129,801 (110.7)	10,694 (84.7)	46,199 (103.0)	30,631 (99.3)	
	令和7年	1	27,305 (100.0)	32,541 (75.2)	126,100 (103.2)	10,131 (87.2)	36,242 (94.8)	27,231 (98.3)
		2	26,345 (97.9)	29,353 (94.7)	122,960 (104.5)	10,125 (88.5)	32,493 (91.3)	25,602 (97.0)
3		28,305 (98.7)	30,955 (80.7)	121,690 (109.4)	10,518 (80.2)	32,225 (71.9)	26,937 (102.6)	
4		30,580 (98.2)	53,087 (84.0)	129,540 (104.3)	9,928 (83.9)	45,237 (90.1)	30,210 (95.5)	
5		27,320 (96.6)	48,403 (99.8)	137,482 (106.6)	9,891 (80.6)	40,461 (92.5)	26,505 (97.1)	
6		27,841 (101.5)	42,220 (88.7)	138,534 (102.4)	8,963 (75.4)	41,168 (99.9)	27,803 (102.9)	
7		32,112 (100.1)	46,926 (95.1)	141,821 (100.8)	10,329 (91.6)	43,639 (99.3)	29,774 (93.2)	
8		24,893 (96.2)	43,219 (88.4)	142,387 (96.7)	10,476 (95.5)	42,653 (100.7)	23,884 (93.9)	
9		28,589 (101.1)	38,340 (100.4)	138,987 (96.2)	10,431 (92.3)	41,740 (102.0)	27,744 (102.7)	
10		30,767 (98.5)	49,168 (111.9)	138,897 (95.7)	9,824 (87.5)	49,258 (113.5)	30,347 (99.6)	
11		33,324 (95.3)	38,712 (112.0)	135,399 (99.0)	10,025 (92.3)	42,210 (98.5)	31,971 (92.9)	
12		32,843 (101.9)	43,015 (109.7)	131,961 (101.7)	9,562 (89.4)	46,453 (100.5)	31,491 (102.8)	
令和8年	1	26,897 (98.5)	39,771 (122.2)	133,852 (106.1)	9,450 (93.3)	37,880 (104.5)	26,178 (96.1)	
	2	25,949 (98.5)	30,715 (104.6)	130,850 (106.4)	8,980 (88.7)	33,717 (103.8)	25,520 (99.7)	
	3	28,758 (101.6)	34,511 (111.5)	128,320 (105.4)	10,032 (95.4)	37,041 (114.9)	26,596 (98.7)	

## 味の素冷凍食品、肉野菜あんかけ丼の具を新発売

味の素冷凍食品(株)(東京都中央区、南良勉社長)は、4種の野菜と豚バラ肉を海鮮ベースのコク深い塩ダレで仕上げた冷凍食品「肉野菜あんかけ丼の具」(オープン価格、150g×2個入り)を6月7日から、全国で発売する。

2025年度における冷凍丼の具の市場規模は22年度比約119%と伸長した。同社の既存品「野菜たっぷり中華丼の具」は、冷凍中華丼の具市場で売り上げナンバー1を誇り、1袋当たり1食分相当量の野菜を使用し、手軽に野菜を取り入れられる点が好評を博している他、購入層の半数以上をシニア層が占めており、バランスの良い食事へのニーズの高さがうかがえ

る。そこで今回、野菜も肉も楽しめる、4種の野菜と豚肉を使った同商品を発売。野菜摂取と食事としての満足感が両立する新たな選択肢として提案していく。

同商品は、キャベツ、玉ねぎ、にんじん、ねぎの4種の野菜と豚バラ肉を使用し、海鮮ベースのコク深い塩ダレで仕上げた丼の具となっている。電子レンジで調理してごはんにかけるだけで簡単に1品が完成する。火を使わずに、内袋のまま電子レンジで温めるだけで簡単に調理できるため、毎日の食事にはもちろん、厳しい暑さによって調理負担の大きくなる夏場にも活躍する。

## プリマハム、「香薫(こうくん)の日」に合わせファンイベント開催

プリマハムは9日、5月9日の「香薫(こうくん)の日」に合わせて、ファンイベント「香薫で地球人をメロメロにする大作戦2026」を東京都江東区の「スモールワールド」で実施した。同イベントは「香薫」ファン、プリマハムファン、同社公式キャラクターのソップリンファンを招待し、さまざまな体験を提供する限定イベントであり、昨年が続いて2年連続での開催となった。会場にはオリジナルのソップリンコーデで参加する家族の姿などもみられ、さらにソップリン、同じく公式キャラクターのはむまるも登場。かわいらしいダンスを披露した他、香薫ファンが考案したレシピを含む、オリジナルメニュー全8品が参加者にビュッフェ形式で提供された。レシピの一部は、プリマハム公式レシピページや公式インスタグラム(<https://www.instagram.com/p/DVx6rVrEayl/>)からも閲覧できる。

イベントではグルメプレゼンターでグルメ系タレントのはっしーさんが司会を務め、はじめに阿部邦明社長(上写真左)が登壇。「2回目の開催となる本イベントだが、昨年お越しいただいた方もいらっしゃるようで、日頃から応援してくださっているファンの皆さまがわれわれの宝だと実感している。今回はSNSからイベントに応募いただいたが、皆さんのコメントや、『もっとこうしたらメロメロにできるのでは』という意見もたくさん頂戴した。本当に、皆さんがプリマハムを思ってくれていることを感じ、やっつけて良かったと励みになった。また、私たちが皆さんと直接お会いできることがなかなかないので、非常にありがたい機会だと思っている。来年は香薫を発売して25周年の記念すべき年になる。いろいろな取り組みや催しを実施し、より多くの方々に香薫の良さ、おいしさを広めていきたい」と呼びかけた。

さらにスペシャルゲストとして、お笑いコンビのトレンドイエンジェルのたかしさん(下写真右)、斎藤さん(同左)が登場。この日のイベントに合わせて、随所に香薫やソップリンのネタを盛り込んだ「香薫の日」オリジナルのネタを披露した。また、はっしーさんとのトークセッションでは「香薫」について、斎藤さんは「常に冷蔵庫に入っている」と明かし、たかしさんは「鍋の具材としても楽しんでいる」と普段から同商品を楽しんでいるエピソードを披露した。その後、参加者に提供され



たビュッフェメニュー8種類の中から「メロメロ香薫ボールのトマト煮込み」を実食。ソップリンから指令を受けたというシェフによる出来たての料理を食べた2人は、共に「おいしい」と大絶賛。たかしさんは「かめばかむほど香薫を感じる。普通に焼いて食べるより、ミートボールに練り込むことによって香薫のミストを感じる」と絶賛。斎藤さんは「アレンジも良い感じで、香薫の良さが生かされている。『香薫あんドーナツ』など、他のメニューも気になる」と話した。最後に今回のイベントについて、斎藤さんは「家族で香薫を食べる幸せを、肉汁と一緒に噛み締めてもらいたい」とコメント。たかしさんは「僕も一緒に香薫食べられる人を見つけないですかね」と話し、会場の笑いを誘った。



そのほか、今回のイベントでは、香薫ファン、ソップリンファンが参加していることから、ファンとしての実力を試すクイズ大会も実施。「地球人をメロメロにする香薫ですが、発売何年目でしょうか？」(正解は24年目)などの香薫の基礎知識から、「かつて香薫を知らない親子にソップリンがしたことは何でしょうか？」(正解は「ゆでたての香薫を口に放り込む」といったソップリンに関する知識まで、さまざまな問題が出題された。ランキング上位者には、EC先行発売グッズやダイカットポーチを贈呈。また、会場プレゼント企画「メロメロチャンス」も複数回にわたって行われ、当選者には香薫あらびきウイナー1ケースなどが贈られた。

そのほか、今回のイベントでは、香薫ファン、ソップリンファンが参加していることから、ファンとしての実力を試すクイズ大会も実施。「地球人をメロメロにする香薫ですが、発売何年目でしょうか？」(正解は24年目)などの香薫の基礎知識から、「かつて香薫を知らない親子にソップリンがしたことは何でしょうか？」(正解は「ゆでたての香薫を口に放り込む」といったソップリンに関する知識まで、さまざまな問題が出題された。ランキング上位者には、EC先行発売グッズやダイカットポーチを贈呈。また、会場プレゼント企画「メロメロチャンス」も複数回にわたって行われ、当選者には香薫あらびきウイナー1ケースなどが贈られた。

最後に新川裕二専務執行役員営業本部長(前頁上写真右)は「香薫ファン、ソップリンファンの皆さまと一緒にのつお祭りを2年連続で開催させていただいた。昨年を上回る盛り上がりとなり、主催者として非

常にうれしい限りだ。ぜひ今後も継続して実施していきたい。来年の香薫25周年に向けて頑張っていくので、皆さまの熱い応援をお願いしたい」と呼びかけ、大盛況となったイベントは幕を閉じた。

## 「2026 神戸ミートフェア」が3～5日までの3日間開催される

「2026神戸ミートフェア～肉の街KOBE～」(主催=2026神戸ミートフェア実行委員会)が3～5日の3日間、神戸市中央区の中突堤で開催された。兵庫県食肉事業協同組合連合会や神戸肉流通推進協議会、食肉加工メーカー、兵庫県内の人気食肉専門店など、食肉専門事業者が中心となり出展。専門事業者ならではの良心的な価格で、各団体それぞれこだわりのメニューを提供した他、試食ブースでは神戸ビーフや黒毛和牛が無料で振る舞われた。

オープニングセレモニーでは、テープカットが行われ、盛大に開催された。開催期間中、一時は雨に見舞われたが、それでも各ブースは盛況。長蛇の列ができるブースも散見されるなど、来場者はイベントを楽しんだ。

出展者と出展・販売内容は次の通り。

明石ビール(地ビール)▷伊藤ハム販売(アルトバイエルン他)▷うらい(神戸ビーフタコス他)▷エスフーズ(こてっちゃん他)▷神戸牛専門店辰屋(神戸牛牛めし焼きそば他)▷神戸市(神戸市PR)▷神戸大学(研究発表)▷神戸肉流通推進協議会(神戸ビーフ焼き肉と試食)▷サッポロビール(サッポロ生ビール黒ラベル他)▷林兼産業(フランクフルト他)▷帝神志方ミート(黒毛和牛サイコロステーキ他)▷日本ハムマーケ



ティング(シャウエッセンホットドッグ他)▷兵庫県食肉事業協同組合連合会(国産牛肉ステーキ)▷兵庫県食肉消費対策協議会(ジャンボすき焼きの試食)▷JA兵庫六甲(野菜、米他)▷プリマハム(香薫ウイナー他)▷本神戸肉森谷商店(スジうどん、コロッケ他)

## 農水省が畜舎の火災発生予防対策の徹底を図るよう通知を发出

農水省はこのほど、畜舎における火災の発生予防について、農政事務所管内都道府県に対し通知を行った。

昨今、畜舎における火災の発生が複数報道されているが、畜舎における火災予防は、農家の安全確保のみならず、畜産経営の安定や畜産物の安定供給を図る上でも非常に重要だ。また、近年の畜産経営の大規模化や機械化に伴い、火災発生時の被害や発生リ

スクが大きくなることも考えられる。

今回发出された農水省からの通知書では、①火災の原因となり得る機器の取り扱い②電気設備の漏電や過熱防止のための定期的な点検③家畜排せつ物から発生するメタンガス④畜舎火災の発生を想定した準備—の事項について、改めて点検するとともに、従業員の教育などにより火災の発生予防対策の徹底を図るよう指示している。

## [豚肉需給動向 3月] 推定出回り量は7・9%増

農畜産業振興機構が発表した3月分の豚肉需給動向によると、推定出回り量は15万3557t(前年同月比7・9%増)となった。このうち国産品は7万6584t(1・3%増)と増加、輸入品も7万6973t(15・5%増)と増加した。

また、国内生産量は7万8207t(2・8%増)、輸入量も7万6792t(16・4%増)となった。これにより、推定期末在庫は国産品が2万4895t(1・9%増)、輸入品が18万6013t(3・2%減)で合計21万908t(2・6%減)となった。

[豚肉需給表]

(単位:t、( )内前年比%)

年月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量			
			輸入品在庫	国産品在庫	うち輸入品	うち国産品		
令和6年	3	77,333 (94.7)	74,351 (107.7)	166,119 (87.6)	23,117 (114.3)	73,918 (107.8)	75,518 (93.0)	
	4	78,976 (107.0)	98,780 (90.2)	174,059 (85.3)	22,670 (110.2)	90,840 (95.5)	79,317 (108.2)	
	5	76,183 (100.1)	94,087 (104.9)	189,925 (84.8)	24,239 (120.0)	78,221 (111.9)	74,520 (97.6)	
	6	66,309 (90.2)	81,660 (100.4)	193,156 (85.8)	24,750 (126.4)	78,429 (98.0)	65,690 (88.9)	
	7	71,674 (105.0)	86,155 (115.1)	195,529 (88.8)	23,227 (111.9)	83,782 (104.8)	73,096 (109.2)	
	8	65,646 (93.5)	84,078 (113.8)	200,290 (92.0)	22,108 (105.1)	79,317 (104.1)	66,669 (95.5)	
	9	68,742 (98.9)	78,666 (127.4)	201,197 (98.9)	21,580 (100.6)	77,759 (102.4)	69,187 (100.4)	
	10	79,514 (101.3)	86,742 (123.7)	201,922 (104.7)	21,384 (108.6)	86,017 (106.5)	79,588 (99.4)	
	11	78,376 (94.8)	78,216 (104.5)	194,797 (105.7)	21,389 (106.1)	85,341 (102.4)	78,264 (95.3)	
	12	80,655 (99.4)	76,518 (113.1)	185,736 (109.2)	22,458 (105.0)	85,579 (104.6)	79,418 (99.6)	
	令和7年	1	79,908 (99.6)	80,505 (111.8)	190,508 (110.0)	23,536 (113.0)	75,733 (109.8)	78,746 (97.6)
		2	72,607 (93.6)	71,911 (111.4)	192,819 (116.4)	24,121 (112.5)	69,600 (96.6)	71,884 (93.5)
3		76,052 (98.3)	65,956 (88.7)	192,115 (115.6)	24,424 (105.7)	66,660 (90.2)	75,606 (100.1)	
4		77,457 (98.1)	93,904 (95.1)	197,256 (113.3)	24,518 (108.2)	88,763 (97.7)	77,266 (97.4)	
5		73,100 (96.1)	90,460 (96.1)	214,149 (112.8)	24,091 (99.4)	73,567 (94.0)	73,406 (98.6)	
6		68,598 (103.5)	83,731 (102.5)	220,673 (114.2)	24,002 (97.0)	77,207 (98.4)	68,560 (104.4)	
7		69,871 (97.5)	82,687 (96.0)	219,105 (112.1)	22,399 (96.4)	84,255 (100.6)	71,374 (97.6)	
8		63,753 (97.1)	74,022 (88.0)	216,178 (107.9)	21,855 (98.9)	76,949 (97.0)	64,151 (96.2)	
9		70,991 (103.3)	76,220 (96.9)	213,175 (106.0)	21,545 (99.8)	79,223 (101.9)	71,134 (102.8)	
10		81,313 (102.3)	84,875 (97.8)	209,457 (103.7)	21,943 (102.6)	88,593 (103.0)	80,789 (101.5)	
11		76,416 (97.5)	65,268 (83.4)	196,931 (101.1)	22,199 (103.8)	77,794 (91.2)	75,962 (97.1)	
12		82,615 (102.5)	68,313 (89.3)	182,068 (98.0)	22,928 (102.1)	83,176 (97.2)	81,767 (103.0)	
令和8年	1	80,664 (100.9)	83,073 (103.2)	190,177 (99.8)	22,910 (97.3)	74,964 (99.0)	80,567 (102.3)	
	2	73,952 (101.9)	65,442 (91.0)	186,194 (96.6)	23,465 (97.3)	69,425 (99.7)	73,310 (102.0)	
	3	78,207 (102.8)	76,792 (116.4)	186,013 (96.8)	24,895 (101.9)	76,973 (115.5)	76,584 (101.3)	

## 中計目標を1年前倒しで達成—伊藤ハム米久HD 決算会見③

伊藤ハム米久ホールディングスが1日に行った2026年3月期決算会見での、質疑応答の内容は次の通り。

—社長就任後初の決算だが、この1年の手応えは。

(浦田寛之代表取締役社長) 総じて良い年であったのではないかと考えている。毎日のように「素の実力を上げていこう」と従業員に伝えている。そうした取り組みが功を奏した。例えば、国内豚肉、牛肉の仕入れと販売のタイミングを極力合わせていくこと、相場の乱高下した輸入鶏肉ではリスク管理を徹底して仕入

れと販売を行うなど、地味ではあるが丁寧に取り組んだ成果が出せた。生産事業では、随所で生産性改善がみられ、年度の終盤ではいよいよ過去最高売上高、過去最高利益の達成がみえてきたことで、社内が一致団結し、新たな工夫を積み重ねていくといった動きもみられた。

一方でまだまだできることがあったとも思っている。消費者の節約志向が高まる中、食肉でも加工食品でも、ニーズに対応した商品をもっと早く展開できたのではないだろうか。また中期経営計画の目標値を達成したことで、これまで抑えてきた設備投資に目を向け

することもできる。26年度以降、中長期的に生産性を向上させる投資計画を検討していく。

—国際情勢の影響も懸念されるが、今年の事業環境の見通しは。

これは、なかなか見通せないという状況にある。27年3月期の通期連結業績は減益を見込んでいるが、包装資材や物流費、エネルギーコストが想定以上に高まるなど環境変化が起きている。その中で、自分たちができることをスピーディーに取り組んでいくことがますます重要になってくる。ニーズ対応(低価格志向などの購買変化への対応)、環境対応(手に入りにくい包材資材を代替素材に切り替えるなどの対応)を、取引先と密に連携しながら、スピード感を持って取り組んでいく。

—加工食品で利益改善や新陳代謝を進めていくにあたり、具体的な戦略は。

コストアップに伴ってさまざまな食品の価格改定が実施されてきた。定番商品は以前よりも一段高価格になっているが、そうした中で日用使いできるリーズナブルな商品のラインアップ強化が必要となる。また、当社グループは商品SKUが多すぎるのも長年の課題となっている。例えば商品自体は同じものだが、内容量

が違うという場合などがある。物価高でストック需要が伸びてくることに伴い、大容量のニーズが高まることが想定され、たくさんあるSKUを集約できるのではないだろうか。消費者にとっては買い求めやすく、われわれにとっては工場での生産効率の向上につながる。こうした新陳代謝を進めていきたい。

—ホールディングス発足から10年の節目の総括は。

一進一退しながら、伊藤ハムと米久がどんどん融和してきたと感じている。両ブランドそれぞれの個性を残しながら、長所から学び合っており、物流や製造工程、システムなど統合が進んだことで、会社全体の筋肉質化が進んだと思っている。一方で10年前に想定していた未来よりも環境の変化が大きい。海外戦略の必要性は当時よりも強くなっており、人手不足の深刻化、これを補完するようにデジタルやAIが発達して生産性を高めていることなどは、10年前に想像していたよりも進展が早い。これからの10年は、海外戦略の強化、国内では今までと異なる稼ぐポイントを付け加えていかなければならない。これまでの延長線上にある成長戦略に加え、M&Aも活用した事業領域の拡張や規模を拡大していく必要がある。(連載終わり)

## 「京都食肉市場まつり 2026 ~京都は、まさしく『肉の聖地』。~」を開催

京都食肉市場まつり2026実行委員会は10日、京都市下京区の梅小路公園七条入口広場で「京都食肉市場まつり2026~京都は、まさしく『肉の聖地』。~」を開催した。

京都市食肉市場(株)は市場で厳選・加工された食肉を「京都食肉市場ブランド」と認定し、消費者へのPR活動に努めている。今回、市場でこだわりの仕入れをする食肉企業と牛・豚を出荷する生産者が一堂に会し、市場ブランドの肉を使った料理と精肉の販売を行った。

祭りには、京都焼肉 つむぐ会、銀閣寺大西、京都焼肉小路、特選焼肉 一寸法師、三嶋亭、MASUICHIフードサービス、JA全農ひろしま、京のお肉処 弘、京都焼肉 南大門、総本家肉の大橋亭、牛匠かぐら、近江牛 岡喜、京都丹波牧場、伊賀肉の駒井、京都食肉市場まつり実行委員会(京都食肉市場)、JA全農長野 長野興農、JA鹿児島県経済連、



COTOCUL(革製品)、京都市中央食肉市場・京大農学研究科附属牧場・京都産和牛PRコーナー、信州肉牛協同出荷組合(阿智村産業公社)・京都府立大学系属 京都府立農芸高校・信州eco農家の直売所が参加。

周辺には人気観光スポットなどもあり、会場には親子連れを含め朝から大勢の人が訪れ、終始にぎわいをみせた。

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 5月11日  
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 241頭	高値	4,328	2,812	-	-	-
		安値	2,556	2,544	-	-	-
		平均	2,982	2,637	-	-	-
		頭数	226	15	-	-	-
		1頭					
	雌 B 1頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	5,079	-	-	-	-
		頭数	1	-	-	-	-
		1頭					
	去 A 56頭	高値	2,917	2,596	2,532	-	-
		安値	2,591	2,485	2,462	-	-
平均		2,676	2,559	2,498	2,263	-	
頭数		48	4	3	1	-	
1頭							
去 B -頭	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
	-頭						
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 20頭	平均	1,917	1,932	1,854	1,759	-
		頭数	1	4	14	1	-
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
	去 B 8頭	平均	-	1,924	1,905	1,782	-
		頭数	-	3	2	3	-
去 C 1頭	平均	-	-	1,848	-	-	
頭数	-	-	1	-	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	396 402	1,094 971	- 147.5	(競り)	(相対)	
				-	10	56

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,626	-	1,899	1,839	-
	B	-	-	-	1,818	-
和 去	A	2,671	-	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,275	1,247
	C	-	-	-	1,280	1,176
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,861	1,826	1,757	-
	C	-	-	1,817	1,680	-
交 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	852	923	865	1,052	864
	安値	846	724	670	539	400
	平均	849	794	758	709	503
	頭数	( 2)	( 408)	( 291)	( 167)	( 103)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入 相対	高値	-	-	-	850	-
	安値	-	-	-	828	-
	平均	-	888	862	839	-
	頭数	( -)	( 1)	( 1)	( 8)	( -)

[大阪食肉卸売市場] 5月11日  
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [ ] は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,851	2,591	-	-	-
(頭数)	( 14)	( 6)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
和 去 A	2,761	2,650	-	-	-
(頭数)	( 21)	( 3)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,916	1,854	-	-
C	-	1,869	1,728	1,707	-
交雑去 B	-	1,953	1,890	1,812	-
C	-	1,909	1,849	1,768	-
豚	-	863	827	668	485

[全国と畜概算頭数]  
農水省統計部発表 (頭)

	5月11日	5月8日	(5月累計)
豚	66,300	67,700	312,500
成牛計	4,510	4,190	15,800
和牛雌	1,140	1,280	4,060
和牛去勢	1,500	1,040	4,440
乳牛雌	470	540	2,000
乳牛去勢	520	480	1,780
交雑雌	390	390	1,670
交雑去	490	460	1,850

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 5月11日

東京	1,790 円	(前日 1,809 円)
大阪	1,875 円	(前日 1,831 円)

[豚・全農建値] 5月11日

上	中	取引頭数	市況
806 円	771 円	1,035 頭	急落

と畜 売買	牛 105 頭	豚 - 頭	牛概況	もちあい
	牛 104 頭	豚 140 頭	豚概況	まちまち

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 5月11日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	724 ( 724 )	- ( - )	6,408	-	もちあい
仙台 [中]	744 ( 761 )	697 ( 687 )	447	88	小安い
栃木 [地]	- ( - )	- ( - )	1,564	3	-
茨城 [地]	819 ( 815 )	803 ( 772 )	1,334	401	続伸
群馬 [地]	786 ( 834 )	687 ( 748 )	2,070	352	反落
さいたま [中]	751 ( 876 )	747 ( 868 )	297	297	急反落
東京 [中]	794 ( 867 )	758 ( 850 )	1,094	971	急反落
横浜 [中]	873 ( 861 )	809 ( 835 )	670	656	続伸
山梨 [地]	- ( - )	- ( - )	123	44	休市
浜松 [地]	- ( - )	- ( - )	-	-	競り休止
名古屋 [中]	857 ( 799 )	838 ( 769 )	778	222	上伸
京都 [中]	731 ( 839 )	701 ( 804 )	102	93	もちあい
大阪 [中]	863 ( - )	827 ( - )	-	99	まちまち
神戸 [中]	- ( 768 )	- ( 767 )	140	-	上場なし
岡山 [地]	750 ( 762 )	760 ( 762 )	287	428	弱気配
広島 [中]	797 ( 798 )	762 ( 759 )	306	115	もちあい
福岡 [中]	735 ( 742 )	704 ( 709 )	600	123	続落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。京都の前日は9日。

[日本食肉流通センター] 5月4日～5月10日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 647,030 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,188	1,361	1,415	1,337	29,761
うで	859	929	972	918	63,785
ロース	1,129	1,225	1,361	1,244	52,277
ばら	1,307	1,426	1,521	1,431	57,143
もも	845	867	982	892	68,522
ヒレ	1,076	1,188	1,218	1,170	7,999
セット	1,109	1,182	1,292	1,183	367,543

◇近畿圏 総重量 488,972 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,320	1,488	1,558	1,470	42,206
うで	827	864	889	861	77,564
ロース	1,258	1,320	1,383	1,332	59,751
ばら	1,350	1,415	1,500	1,425	81,399
もも	810	842	907	851	113,957
ヒレ	1,268	1,380	1,555	1,376	9,045
セット	985	1,198	1,260	1,178	105,050

[食鳥正肉日経相場] 5月8日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	770	844	983	212
ムネ	446	492	662	224

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	759	824	1,050	5
ムネ	431	494	610	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 5月8日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,036	708	550	600	650
安値	770	456	290	360	350
平均	858	489	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

# 食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

### ■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

### ■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

### ◆食肉販売&経営関連

## 銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

## 銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

### ◆イベント

#### ■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



## 食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで  
お近くの食肉通信社まで

# 株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510  
TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928  
TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

## 週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

## 日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

## 月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

### ◆教材&レポート等

#### ■あなたの常識を強化にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男  
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

#### ■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

#### ■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

#### ■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

### ◆ステーションリー

## 食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します